

共同発注事例① 木古内町、知内町の水道施設の運転・維持管理共同発注(平成30年4月～)	
木古内町水道事業 事業規模等	給水人口 : 4,084 人 1日最大給水量 : 1,829 m ³ /日 給水面積 : 19.4 km ² 職員数 : 【直営】 4 人 【第三者委託】 - 人 【委託】 2 人
知内町水道事業 事業規模等	給水人口 : 4,343 人 1日最大給水量 : 4,497 m ³ /日 給水面積 : 26.96 km ² 職員数 : 【直営】 4 人 【第三者委託】 - 人 【委託】 2 人
スキーム等	
経緯	H29.12・・・木古内町・知内町水道施設運転維持管理業務に関する協定締結 H30.1・・・受託候補者共同選定 H30.4・・・受託者による運用開始
広域連携 (共同発注) のメリット	①小規模事業者単独では事業規模が小さく、民間の受注や創意工夫が期待できないが共同発注で規模を拡大することで受注を誘引できる。 ②財政状況の悪化するなか、単独では技術レベル維持は困難であるが、共同で民間の人的資源を長期的に確保できる。
広域連携 (共同発注) のデメリット	今後の課題・・・施設管理マニュアルの標準化など
業務手法 (公民連携等)	公営が基本 + ③業務委託(性能発注) の包括委託
対象業務 (維持管理体制)	
浄水施設 維持管理	業務手法 業務委託(包括・性能発注) 委託先:株式会社水ing、複数年(3年)契約